

CDITシンポジウムin広島

～高潮、その脅威と対策～

主催：財団法人沿岸技術研究センター(CDIT)

後援：国土交通省中国地方整備局・広島県・広島市・中国新聞社

平成17年2月25日(金) 14:00～17:00

東方2001 6階くじゃくの間

入場無料

I 主催者挨拶

財団法人沿岸技術研究センター 理事長 江頭和彦

II 来賓挨拶

国土交通省中国地方整備局 局長 望月常好

III 基調講演

『瀬戸内海における高潮災害の特徴
と今後の高潮対策』
京都大学防災研究所 教授 高山知司

瀬戸内海は、大きな潮位変動と比較的頻度の高い高潮の発生、一方、小さな波浪によってその海象が特徴づけられる。このような海域に発生する高潮が起こす災害の特徴について述べるとともに、住民の生命や財産を高潮から防御するために検討すべき事項を明らかにし、これからの高潮対策のあり方について展望する。



京都大学防災研究所 教授

高山知司 (たかやまともつか)

港湾技術研究所水工部長を経て、現在に至る。現職の他、土木学会海洋開発委員会委員長を勤められ、日本の津波・高潮研究の第一人者として活躍中。主な著書として、「防災辞典」、「防災ハンドブック」、ほか多数

IV 特別講演

『異常気象とこれからの防災意識』
財団法人日本気象協会 気象予報士 飯島 希

昨年は、台風が日本に10個も上陸したり、集中豪雨や記録的な猛暑など、記憶に残る異常気象でした。これらの異常気象を振り返り、豊かに暮らしていくための一人一人の防災意識について考えてみたいと思います。



日本気象協会 気象予報士

飯島 希 (いいじまほまれ)

AM ラジオニッポン放送で「エコ天気予報」「エコドライブ情報」のオンエア原稿を提供、国土交通省広報誌「国土交通」にて「グリーンレポート」を隔月連載中。ほか多数活動

V フォーラム

『高潮防災・・・それぞれの立場から』

➢ コーディネーター

中国新聞社 論説委員 難波健治

➢ パネラー

厳島神社 祢宜 飯田橋明

高知県須崎市 総務課参事 西村精二

広島大学大学院 助教授 日比野 忠史

独立行政法人港湾空港技術研究所主任研究官 河合弘泰

国土交通省中国地方整備局 副局長 鈴木純夫

会場へのアクセス

東方2001
広島市東区光町2-7-31

JR広島駅新幹線口
より徒歩5分



お申込は、ホームページをご覧ください。

<http://www.cdit.or.jp/>

お問い合わせ

財団法人沿岸技術研究センター企画部
「CDITシンポジウムin広島」係

TEL03-3234-5862 FAX03-3234-5877



本シンポジウムは、土木学会 CPD プログラムに認定されています